

計量みやぎ

謹賀新年

No.97 2023.1.1



出典：航空自衛隊ホームページ(<https://www.mod.go.jp>)

日本三景・松島町の隣に位置する東松島市にある航空自衛隊の「松島基地」。
この基地で有名なのが第11飛行隊「ブルーインパルス」です。一昨年行われた東京オリンピックの空に鮮やかなスモークで五輪の輪を描き、またコロナ禍で働く医療従事者の方々に敬意と感謝を示すために都心を飛行したこともニュースになりました。
コロナに振り回され、疲弊し、下を向きがちだった私たちに、晴れ晴れとした空を見上げる心地よさを思い出させてくれたブルーインパルス。あの素晴らしい飛行がどれほどの厳しい訓練の賜物なのか、想像しながら見上げると格別の思いです。松島基地では基地上空訓練の見学も可能です。まだまだ世界情勢もコロナも落ち着きませんが、上を向いて日々過ごしていきたいものです。

目次

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| P.1 表紙(ブルーインパルス) | P.8-9 みやぎ計量のひろば |
| P.2-3 年頭のご挨拶 | P.10 R4年度 各講習会 |
| P.4-6 第65回定時総会 | P.11 宮城県・仙台市(計量行政)から |
| P.7 R4年度東北・北海道計量大会 | P.12 今後の研修会とお知らせ |

一般社団法人 宮城県計量協会 www.keiryō.net/

- 〈事務局〉 仙台市太白区長町7-22-23
TEL 022-246-2466/FAX 022-247-1490
- 〈日の出町分室〉 仙台市宮城野区日の出町3-5-32
TEL 022-236-3044/FAX 022-236-3045
- 〈泉分室〉 仙台市泉区明通2-2
TEL 022-725-3727/FAX 022-377-8731

年頭のご挨拶



会長

鍋島 孝敏



新年、明けましておめでとうござい
ます。
新たな年を迎えるに当たり謹んで新
春のご挨拶を申し上げます。
会員の皆様におかれましては、つづ
がなく新しい年を迎えたことお慶び
申し上げます。また平素は、仙台市内
のハカリの定期検査・県内のハカリの
代行検査事業、郵政計量管理事業、計
量普及啓発事業、研修事業、工業材料
試験事業など計量協会の事業活動にご
支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。
この場を借りて厚く御礼申し
上げます。

昨年は、コロナも三年目となり感染
者は相変わらず増えたり減ったりして
いますが、国の政策としてはWITHC
ORONAの方向に大きく転換し、
外国人観光客の受け入れも復活させ、
経済活動を回すことを優先しています。
そのおかげで様々な会合が可能となり、
計量業界としても定時総会や理事会及
び計量記念日全国大会、計量士全国大
会等の集いが軒並み再開できました。
合わせて、この二年間で身に付けたオ
ンライン併用というノウハウを駆使し
て、ハイブリッドで会議が開催出来る
ようになったのは大きな進歩ではない
でしょうか。福島県で予定されていた
北海道・東北計量大会も三年越しでよ
うやく開催する事ができ、着席での懇
親会もあり大いに旧交を温める場とな
りました。そんな中、当宮城県におい
ては毎年「八木山動物公園」で開催し

て来た「みやぎ計量のひろば」を、昨
年も十月二十九日の土曜日に開催致し
ました。昨年に引き続き密を避けるた
め、例年行っていた（館を一〇一g計
ろうコーナー）は自粛しましたが（サ
イコロの目の長さにテープを切ろう
コーナー）や（テープをどこまで伸ば
せるか）などのコーナーは復活させ、
折しも「子供無料」という動物園企画
とも相まって朝一番から大勢の市民の
皆様が来園され、我々が目指して来た
計量思想の普及・啓発が大いに図られ
る場となりました。

我が宮城県計量協会の事業は、世の
中の経済が復活するには必要不可欠な
もののため、計画通り順調に推移して
おります。改めて、計量・計測という
世の中の基準を供給・維持する仕事の
重要性と安心・安全への貢献度を再確
認して、協会のみならず我々会員企業
全体がそういう業界に身を置いている
ことに感謝しつつ地域経済の発展に尽
くしましょう。

昨年末より、第八波が来ているとい
う兆候もあり、予断を許さない状況で
はありますが、今後も、コロナとはう
まく共存して行きながら、協会も会員
の皆様も共により強固な感染対策を講
じ、ニューノーマルの時代の中での仕
事の仕方を工夫して取り込んで行かね
ばなりません。

本年も、より一層のご奮闘とご協力
をお願いして私の年頭のご挨拶とさせ
て頂きます。

迎春

あけまして
おめでとうございませす

会 長	鍋 島 孝 敏	副 会 長	千 葉 信 弘	副 会 長	笠 原 秀	顧 問	石 川 光 次 郎	顧 問	渡 辺 博	常 任 理 事	加 藤 啓 二	常 任 理 事	和 田 剛 和	常 任 理 事	江 刺 茂	常 任 理 事	三 浦 誠	常 任 理 事	加 藤 昌 宏	理 事	川 越 振 一 郎	理 事	阿 部 喜 一	理 事	松 倉 賢 一
理 事	結 城 勇	理 事	安 藤 輝 彦	理 事	植 野 晃 男	理 事	大 根 田 敬 二	理 事	小 野 信 也	理 事	北 彰 久	理 事	佐 藤 弘 三	理 事	野 原 浩 友 樹	理 事	小 坂 隆	理 事	島 貴 博	理 事	加 藤 潤 美	監 事	鈴 木 伸 彦	監 事	加 藤 尚 佐

(敬称略)

元気で躍動する宮城を目指して



宮城県知事 村井 嘉浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様、御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。また、昨年七月に発生した大雨により、人命への被害こそ避けられたものの、県北部を中心に大規模な冠水等による被害が生じました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

昨年は、宮城県制一五〇周年の節目の年でありました。宮城県制一五〇周年記念事業として、様々な観光キャンペーンや催しを実施し、本県の歴史や伝統、文化を県内外に発信するとともに、郷土への更なる愛着を醸成し、魅力あふれる地域づくりの契機となるよう取り組んでまいりました。また、仙台育英学園高等学校が第一〇四回全国高等学校野球選手権大会において東北勢初となる優勝を果たしました。東北の高校球児が長年にわたり挑戦を続けてきた大きな壁を、チーム一丸となつて乗り越えたその姿は、東北全体に大きな感動と希望を与えてくれました。さて、社会情勢がめまぐるしく変化

する中、県政は今、様々な行政課題に直面しており、特に、長期化するコロナ禍と物価高騰は、県民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしています。本県の財政運営は、社会保障関係経費の増加に加え、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応等により、依然として予断を許さない状況にあります。が、緊急を要する施策については、今後とも柔軟な予算執行に努め、万全の対策を講じてまいりたいと考えております。

今年「新・宮城の将来ビジョン」の三年目に当たり、本格的な人口減少局面を見据え、次の世代を育成・応援する施策を重点的に推進してまいります。特に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）による「変革みやぎ」の実現に向け、あらゆる分野でデジタル技術を活用し、県民サービスの向上や県内産業の活性化などを図るとともに、昨年度創設した次世代育成・応援基金を活用した若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備、頻発化・激甚化する自然

災害から県民を守るための災害に強い県土づくり等の取組を重点的に推進いたします。
宮城県誕生から一五〇年という長い歴史の中で、先人達が積み重ねてきた

年頭のご挨拶



仙台市市民局 生活安全安心部消費生活センター 所長 加藤 祐子

あけましておめでとうございます。日頃より、本市の計量行政を始め市政各般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

志を胸に、宮城の力を成長させ、県民が活躍できる機会と地域の魅力にあふれ、元気で躍動する宮城を目指して取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

昨年はロシアによるウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格や資源価格高騰、大幅な円安進行による食料品等の断続的な値上がりで生活を圧迫する事態となりました。一方、新型コロナウイルス感染症の収束は見えない中であるものの、経済活動は活発化してきており、アフターコロナを見据えた社会へとシフトが進んでおります。消費生活センターに寄せられる相談も、社会情勢の変化に伴い、複雑化・多様化しており、対応に時間を要する状況となっております。

さて、本市では仙台市計量検査器材保管室の改修工事を行っており、本年三月に完成する予定です。貴協会職員の皆様の執務環境向上の一助になれば幸いです。計量検査制度は消費生活の安全・安心の基盤といえる制度であり、本市としても消費生活基本計画において、計量に関する調査・指導・啓発を重点施策と位置付け、評価指標を設定しており、引き続き適正な計量行政の推進に取り組んでまいりたいと考えております。

今後、消費生活の安全・安心の確保や健全な産業活動の推進のため、ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

第六十五回 定時総会開催

令和四年度定時総会は去る六月二日、仙台市「ホテルモントレ仙台」において開催された。

開会に先立ち令和三年にご逝去された鍋島綾雄元会長及び武田巖元専務理事に黙祷を捧げ故人を偲んだ。

総会は十五時五分に和田常任理事が開会を宣し、委任状を含む百二十九名(内、議決権所有出席二十五名)が出席し開会した。はじめに鍋島会長の挨拶があり、定款に基づき鍋島会長の議長に就いて議事を進行した。

議案は第一号から第四号までの四案(後掲)について佐藤専務理事と松倉事務局長より説明がなされ、それぞれ満場一致で原案どおり可決された。



会長挨拶

議案承認後、事務局から報告事項として令和四年度の事業計画、同収支予算、計量功労者表彰及び今後の主な行事・研修会等の報告があり、千葉副会長の閉会挨拶により、十六時二十分終了した。

総会終了後、引き続き計量功労者表彰式を今年度は三年ぶりに、ご来賓として宮城県知事(代理・宮城県経済商工観光部産業立地推進課 佐々木浩総括課長補佐)、仙台市長(代理・仙台市市民局生活安全安心部消費生活センター 加藤祐子所長)、石川光次郎宮城県議会議員(代理)、渡辺博仙台市議会議員、宮城県計量検定所長(代理・星和彦副参事兼総括次長)のご臨席を賜り開催された。

表彰式は、宮城県経済商工観光部産業立地推進課 佐々木浩総括課長補佐より知事褒賞一名、当協会会長より会長表彰二名及び、会長褒賞三名にそれぞれ賞状と記念品が贈られ、表彰者代表として大槻正則氏が謝辞を述べ、宮城県経済商工観光部産業立地推進課 佐々木浩総括課長補佐、石川光次郎宮城県議会議員、渡辺博仙台市議会議員より祝辞をいただいた後、表彰式を終了した。



計量功労受賞者

★宮城県知事褒賞

大槻 正 則 氏
日東イシダ株式会社

★(一社)宮城県計量協会会長表彰

宗 像 智 氏
日東イシダ株式会社

八重樫 雅 彦 氏
仙台ヤマトハカリ株式会社

★(一社)宮城県計量協会会長褒賞

村 田 一 朗 氏
日東イシダ株式会社

淀 野 啓 氏
日東イシダ株式会社

橋 本 英 之 氏
(公財)宮城県公害衛生検査センター



知事褒賞受賞式



受賞者の方々



ご来賓の方々

《第一号議案》

令和三年度事業報告について

令和三年度の会員状況、総会・理事会等の主要会議、公益事業として「二〇二一みやぎ計量のひろば」のイベント関連事業、計量証明主任計量者試験講習会および同レベルアップ講習会、測定の基礎研修会、計量技術研修会等の講習会・研修会の開催、宮城県からの受託事業として「宮城県産業技術総合センター依頼試験及び試験機器保守管理等業務」の受託、仙台市指定定期検査機関業務等の委託、流通事業者への啓発活動や機関誌発行による広報活動、計量功労者表彰事業等のほか、収益事業として、代検査事業、計量器の校正、計量管理受託事業、宮城県証紙売り捌き事業、中央・地方団体との連携、諸会議等について事務局より説明がなされ、異議なく承認された。

《第二号議案》

令和三年度決算報告について

事業活動収入 一〇〇、八二四千円
事業活動支出 九八、八三八千円
事業活動等の決算報告について、松倉事務局長から説明があり、その後鈴木監事から監査報告がなされ、異議なく承認された。

《第二号議案》

定款の一部改定について

事務局長の権限を拡充又は明確化させるため、定款の規定を一部変更の旨を佐藤専務理事より説明があり、異議なく承認された。

《第四号議案》

理事の一部選任について

会社人事異動に伴い辞任した役員の後任理事の提案が事務局から提示され、異議なく承認された。

- 前理事 川原 彦造 氏 辞任
同 邊見 義尚 氏 辞任
同 佐藤 陽介 氏 辞任
専務理事 佐藤 正使 氏
新理事 小坂 隆 氏 就任
同 加藤 潤美 氏 就任
同 島貴 博 氏 就任

《報告事項》

事務局から以下の報告があった。

- 令和四年度事業計画について
① 令和四年度実施事業計画の概要 説明(後掲)
② 令和四年度収支予算について (下表参照)
③ 令和四年度収支予算について 事業活動収入 一〇一、一五二千円

令和3年度収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

単位：千円

Table with 5 columns: 科目, 実施事業等, その他, 法人, 合計. Rows include 1. 事業活動収入, ① 会費・入金収入, ② 事業収入, 計量普及啓発事業収入, 計量士検査手数料収入, 証紙取扱手数料収入, 受取受託事業収入, 立入検査受託事業収入, 分銅管理受託事業収入, 郵政G管理受託事業収入, 県受託事業収入, 市補助金収入, 指定定期検査事業収入, ③ 雑収入, 事業活動収入計, 2. 事業活動支出, ① 事業費支出, ② 管理費支出, 事業活動支出計, 事業活動収支差額.

令和4年度収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

単位：千円

Table with 4 columns: 実施事業等, その他, 法人, 合計. Rows include ① 会費・入金収入, ② 事業収入, 計量普及啓発事業収入, 計量士検査手数料収入, 証紙取扱手数料収入, 受取受託事業収入, 立入検査受託事業収入, 分銅管理受託事業収入, 郵政G管理受託事業収入, 県受託事業収入, 市補助金収入, 指定定期検査事業収入, ③ 雑収入, 事業活動収入計, ① 事業費支出, ② 管理費支出, 事業活動支出計, 事業活動収支差額.

事業活動支出

一〇〇、六五二千元

④計量功労者の表彰

⑤令和四年度東北・北海道計量大会の日程について

〈令和四年度事業計画〉

(一)計量思想普及、啓発事業

●計量記念日事業

「二〇二二みやぎ計量のひろば」の開催

●計量に係る研修会・講習会開催

計量証明事業の主任計量者試験講習会の開催

●計量に係る資料の作成配布、情報の提供

(二)指定定期検査機関事業

●仙台市の指定定期検査機関として、仙台市内の特定計量器(質量計)の定期検査実施
今年度検査対象区域
若林区・泉区・宮城野区

一、六二九事業所

四、七三七個

検査日数 約二百十九日

(三)計量器検査事業

●代検査事業

計量行政機関に代わる計量士による検査及び計量証明検査を実施
県内(十六市町)

約一、〇二二事業所

三、一九八台

●計量器・分銅校正事業

JCSS標準を付与しない校正を実施

●一軸試験機校正事業

計量標準トレーサビリティ体系としてJCSS校正等を(一社)日本計量振興協会の校正課員として実施

(四)官公庁受託事業

●宮城県産業技術総合センター依頼試験及び試験機器保守管理等業務の受託

●仙台市の特定計量器、商品量目の立入検査補助業務及び基準分銅管理業務の受託

(五)計量管理受託事業

●大規模小売店等の計量器検査及び商品量目の検査を計量士の指導の下実施

●日本郵政グループの郵便局等の適正計量管理事業に係る計量管理業務の実施

(六)収入証紙売り捌き事業

●宮城県収入証紙売り捌き所として、工業材料依頼試験、特定計量器の検定及び定期検査の申請者へ宮城県収入証紙を販売

(七)計量関係情報の提供

●計量情報・会員情報及び協会活動状況を、機関誌・ホームページ等で効果的に発信

一般社団法人日本計量振興協会
第十一回 定時総会

令和四年五月二十六日、東京都港区の「ホテルインターコンチネンタル東京ベイ」において一般社団法人日本計量振興協会 第十一回定時総会が開催された。総会終了後、計量功労者表彰式が行われました。
定時総会には、事務局から二名出席しました。

総会では、議案書及び報告事項の説明が行われ、原案どおり承認され、閉会されました。

また、総会終了後は、過年度(令和二年度・令和三年度)計量功労者表彰式が新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となっていました。今回、出席可能な方を対象とした計量功労者受賞者の紹介と写真撮影が執り行われました。

当協会からは、令和三年度に受賞した松倉賢一が出席しました。

計量記念日 全国大会

十一月一日にホテルインターコンチネンタル東京ベイにて計量記念日全国大会が開催されました。

計量記念日式典では、経済産業大臣表彰は七名、産業技術環境局長表彰は一八名の方が受賞されました。

記念行事では、三年ぶりに「何でもはかってみようコンテスト」が開催されま

した。啓発標語と併せ、最優秀作品は次のとおりです。

●最優秀作品

「まばたきの回数を計ろう」

森川遥人さん

森川あさひさん(鳥取県)

計測条件が同一になるようにリラックスした「食事中」を計測時間に設定したり、他の状況下での回数から違いを考察したり、家族一丸となって取り組んだ研究作品でした。

●計量啓発標語最優秀賞

「正しい計量

社会を支え 未来へ繋ぐ」

内海明花梨さん(福島県)

特別講演では「人類の起源と変遷」日本人はどこから来たのか(東京大学総合研究博物館教授・人類進化学者・海部陽介氏)があり、台湾から与那国島まで丸木舟で三万年前の航海を徹底再現したプロジェクト等、大変興味深い内容をわかりやすく講演頂きました。



R4年度ポスター

令和四年度 東北・北海道計量大会
十月六日(木)「ホテル福島グリーンパレス」

令和四年度東北・北海道計量大会が、福島市の「ホテル福島グリーンパレス」において、十月六日(木)開催されました。

令和元年に岩手県で開催されてから、新型コロナウイルス感染症の影響により、二年延期され、三年ぶりに開催する運びとなりました。

大会は、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら開催され、出席者を計量行政室、国立研究開発法人産業技術総合研究所、各道県の計量行政機関、中央計量団体等会員百名余りが参加し、当県からは十三名が参加して行われました。

開会宣言後、物故者へ黙祷の後、主催県の東北六県北海道計量協会連合会の八巻研一会長から歓迎の挨拶があり、大崎美洋経済産業省 産業技術環境局計量行政室長、福島県知事(紺野商工労働部政策監代読)、福島市長、日本計量振興協会長(河住専務理事代読)の来賓の方々から祝辞をいただいた後、来賓の紹介が行われました。

つづいて計量功労者表彰式が行われ、七名が表彰されました。

当県からは、トキコシステムソリューションズ㈱東北支店の三浦誠氏が受賞されました。

つづいて大会宣言が読み上げられ、満場一致で採択され大会は終了しました。



トキコシステムソリューションズ㈱東北支店 三浦 誠 氏

第六十九次 東北六県北海道計量協会連合会総会

計量大会に引き続き、第六十九次東北六県北海道計量協会連合会総会が、会則に従い開催県の八巻研一福島県計量協会会長が議長に就き、前回開催県であった計量計測技術センターから連合会総会の報告を受けてから議事に入った。

各県からの提出議題は次のとおりであった。

議題一 若手育成のための要望について(山形県)

議題二 自動はかりの指定検定機関について(秋田県)

議題三 連合総会の時期開催地について(福島県)

議題一 について、山形県より、指定定期検査機関の職員が計量研修センター

へ入所した際の受講に係る費用の免除(若しくは減額)の要望があり、これに対して、大崎計量行政室長、島岡計量研修センター長および日本計量振興協会の河住専務理事より回答説明があった。

議題二 について、秋田県より、自動はかりの指定検定機関への計量行政室並びに関係各位に伺いたいとのことであり、先に議長より、計量計測技術センター及び当協会に現時点での進捗状況の説明を求められ、その後、計量行政室長より回答説明がなされた。

最後の議題は連合会会則により次期開催地を北海道とすることが満場一致で決定され、大会旗を引継ぎ、総会は終了した。

大会宣言

計量は、経済の発展、社会生活、文化の向上、環境の保全の基本となるものである。

我々は、先人が築いた偉業を引き継ぎ、その使命の重要性を自覚し、住みよい豊かな社会の構築を目指し、計量人としての決意を新たにその責務を遂行しなければならない。

今日、計量界をとりまく諸情勢は、国際化、規制緩和と大きく変革しており、このような情勢に対応する確かな計量の推進をはからなければならない。

また、東日本大震災から11年目を迎え、復興の歩みを国連の持続可能な開発目標(SDGs)を理念に重ね一歩ずつ、復興の歩みを国連を進めていくことに尽力しなければならない。

我々は、現状の認識と理解により計量に関わる者として、正確な計量計測による計量の安全確保のため、常に使命感を持ち、

「暮らしを守る確かな基準……計量・計測」
「地球環境と生活を守り、はかることはすべての基本です」

をスローガンに掲げ、これを達成するため最大限の努力を重ねていくことを決意し、本大会の名において宣言する。

令和4年10月6日

東北・北海道計量大会



2022 みやぎ 計量のひろば

10月29日 土
八木山動物公園
フジサキの杜



10月29日、今年も晴天に恵まれ、八木山動物公園フジサキの杜にて「2022みやぎ計量のひろば」を開催いたしました。(宮城県、仙台市、計量協会共催)
 予防接種もだいぶすすんでいることから今年は密にならないよう配慮しながら「長さ当てチャレンジ」(参加人数438名)「ビニール伸ばしてチャレンジ」(同860名)のコーナーを復活させ、どちらも用意した景品がなくなるほど大盛況でした。
 また、コロナ禍の感染予防のため試みた動物QRクイズも3年目となり、八木山動物公園職員の皆様の協力を得て、大人も唸る問題(問題と解答参照)となりました。
 「計量記念日の由来」「7つの計量単位」等、計量記念日関連のパネル展示からも一問出題し、正解者にはクオカードを発送いたしました。
 動物公園の西門と東門に置いて、園内のクイズマップと計量記念日特製ティッシュ、特製ボールペンを小袋に入れて配布しました。



目分量ってむずかしい…(汗)

どこまで伸びるかな?



動物・計量クイズ



Q1 SI基本単位はいくつの種類があるでしょうか?

A ③7種類



Q2 フクロテナガザル(剥製)の腕の長さは?

A ①49.5cm



Q3 ケヅメリクガメ(リク)の歩く速さは?

A ②時速0.82km



Q4 フタコブラクダ(ラフ)の足の面積は?

A ③615cm²



Q5 ライオン(サン)の獣舎内における声の大きさは?

A ②106dB



Q6 カバ(ベロ)が水に潜っている時間は?

A ①4分22秒

Q7 ホンドフクロウ(ななまる)の首が回る角度は?

A ①280°

ポスター入賞者

11月計量管理強調月間に向けて、小学生対象にポスターを募集いたしました。入選作品は啓発ポスターとし、県内の小学校に送付いたしました。



濱さん



御調さん



佐藤さん



藤井さん



佐藤 蒼仁さん (仙台市立南材木町小学校)	佳作	藤井 里多さん (仙台市立錦ヶ丘小学校)	佳作	濱 陽乃さん (仙台市立荒巻小学校)	優秀賞	御調 博貴さん (仙台市立長町小学校)	最優秀賞
--------------------------	----	-------------------------	----	-----------------------	-----	------------------------	------

解説

八木山動物公園にいる動物(剥製)の実測だったので、ネット検索で答えを探した方は不正解になってしまいました。今回は選択肢が小数点以下まであったので、非常に迷われたのではないのでしょうか? 動物公園飼育員の皆様、ご協力ありがとうございました。(騒音計は北日本環境整備(株)様よりお借りいたしました)

水道・ガスメーターは愛知時計電機 株式会社様/質量計は株式会社 寺岡システム様よりお借りしました。

※ポスター、標語は令和5年度も募集の予定です。奮ってご応募お待ちしております。
また、小学生対象に「なんでもはかってみようコンテスト」(日本計量振興協会)の募集もございますので、宮城県から入賞目指して是非ご応募ください!

計量証明事業主任計量者 レベルアップ講習会

去る令和四年三月十四日に宮城県計量検定所にて、一般計量証明事業主任計量者の、適正な計量証明事業遂行のためのレベルアップ講習会を開催しました。これは、主任計量者の資格を取得してから五年を経過した方々を対象とした講習会であり、今回は十名の参加がありました。

令和三年度

一般計量証明事業主任計量者

レベルアップ講習会

- 【日程】 令和四年三月十四日(月)
- 【場所】 宮城県計量検定所会議室
- 【主催】 (一社) 宮城県計量協会
- 【共催】 宮城県計量検定所
- 【参加人数】 十名

主な講習内容

- 一 開講にあたって
- 二 計量証明事業立入検査状況等
- 三 計量法の概要
- 四 質量計の基礎知識
- 五 最近の計量法の動向
- 六 質疑応答

令和四年度も同講習会を
令和五年三月に開催予定です。



令和四年度 一般計量証明事業所 主任計量者試験講習会

計量証明の事業を行う者は、所在地を管轄する都道府県知事の登録が必要です。(ただし、国又は地方公共団体等は、除く)

この講習会は、宮城県が実施する主任計量者認定のための試験を受ける資格を得ることと、特定計量器について使用方法や性能、計量証明に使用する器具、機械または装置について、使用上必要な知識を習得するためなど、適正な計量証明の事業の確保を図ることを目的にしています。

講習内容は、①計量法概論②質量計の知識③計量に関する基礎知識(演習を含む)です。

今年度は次のとおり開催されました。講習会を修了した受講者には修了証が交付され、講習会終了後、宮城県による主任計量者認定試験が行われました。

- 【第一回】 令和四年六月二十一日(火)
十時〜十四時三十分
【場所】 宮城県計量検定所
二階大会議室
- 【第二回】 令和四年十一月二十八日(月)
十時〜十四時三十分
【場所】 宮城県計量検定所
二階大会議室

2022年度 第四十二回 東北・北海道 計量士協議会

十二月八日、盛岡市「ホテルメトロポリタン盛岡」において、東北・北海道

地区の計量関係者三十一名が参加、他来賓をお迎えし、東北・北海道計量士協議会が三年ぶりに開催された。

- 議題一 新型コロナ禍での検査業務の執行に際して得たもの、失ったもの (北海道)
- 議題二 デジタル化における業務の効率化、生産性向上について (北海道)
- 議題三 計量士会員の会費等について (青森県)
- 議題四 「自動はかりの検定について」の相談への対応 (岩手県)
- 議題五 次期開催県について(岩手県)

以上の議題について提案道県から趣旨説明があり、議論が交わされた。

議題一については、各道県とも延期は余儀なくされたものの、検査業務は概ね順調で、感染に対する不安等のデメリットもあつたが、遠方の講習会にリモートで参加できた等、コロナ禍ならではのメリットもあつたと報告された。他議題の後には「持続可能な計量制度を考える」上での提言等をテーマに、実務的な問題について熱のこもつた意見が飛び交い、予定時間まで活発な議論が交わされた。

最後に日計振村松常務理事より「最近の計量関係情報について」として講話をいただき、協議会は終了となった。

『取引や証明』に使用するはかりは、『検定証印』等の付された『はかり』を使用しましょう

取引や証明に使用されるはかり

検定証印は、公的機関が「はかり」の製造、修理時に※検定を行い、合格したものにその正確さを証明し刻印するもの

です。

また一定水準の製造・品質管理能力があると認められた「指定製造事業者」が製造した「はかり」については**検定証印**ではなく**基準適合証印**が付されており、これらの証印のない「はかり」は、※取引や※証明に使用することはできません。さらに、取引や証明に使用しているはかりは二年毎に定期検査があり、合格したものでなければ使用できません。

※検定：計量法で定める基準に適合しているかを検査すること。

※取引：有償、無償を問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為

※証明：公にまたは業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること

家庭用はかり

家庭で使用される目的で製造され、計量器の性能が法定技術基準を満たすものには家庭用特定計量器技術基準適合マークを付すことが義務付けられています。こちらの「はかり」は「取引や証明」に使用することはできませんのでご注意ください。



家庭用計量器マーク

『取引や証明』に使用するはかりは、『検定証印』付きのはかりを使用しましょう

宮城県計量検定所からのお知らせ

計量関係者の皆様には、本県の計量行政について、日頃よりご理解とご協力をいただき感謝を申し上げます。

宮城県計量検定所では、計量法に基づき、適正な計量の実施の確保と消費者保護などの観点から、計量関係事業者の登録・届出・指定に関することのほか、特定計量器などの検査・検定を実施しておりますが、今年の主な予定は次のとおりです。

■立入検査

製造事業者、修理事業者、計量証明事業者等への立入検査については、一月から三月にかけて実施する予定です。また、中元期及び年末年始の時期には、計量法で定める特定商品（食料品等）について、仙台市を除く県内三十四市町村のスーパーや小売店等を対象に、商品量目立入検査を実施する予定です。

■主任計量者試験等

計量証明事業の登録に必要となる主任計量者の資格試験（質量計）については、六月と十一月に、それぞれ実施する予定です。この受検には、県計量協会が実施する講習会の受講が必要となりますので、ご留意願います。さらに、同試験合格後五年ごとに主任計量者の方々を対象とする、一般計量証明事業主任計量者レベルアップ講習会を県計量協会との共催で三月に開催する予定です。

■定期検査

取引又は証明に使用される非自動はかり、分銅、おもりについては、二年に一回の受検が義務付けられています。この定期検査については、市町村単位で実施しており、今年度は六市十一町一村（※）を対象に実施する予定です。日程、場所などの詳細については、二月頃に当事務所のホームページに掲載しますので、そちらで確認をお願いいたします。

■改修工事

計量検定所の施設は、築後五十年以上の年数が経過していることから、順次改修工事に取り組んでいます。今年度は、敷地内のアスファルトの路盤やタクシーメーター装置検査場のスロープの改修工事のほか、事務所の外壁の補修工事などを予定しております。工事の施工に伴い、来所の皆様には、ご不便をお掛けすることになりますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※六市十一町一村

栗原市、石巻市、登米市、塩竈市、富谷市、多賀城市、利府町、七ヶ宿町、蔵王町、川崎町、柴田町、大河原町、村田町、七ヶ浜町、大郷町、松島町、大和町、大衡村

仙台市消費生活センターからのお知らせ
〜仙台市の計量行政について〜

■仙台市の計量行政

仙台市消費生活センターは、昭和六十二年に現在の仙台三越・定禅寺通り館五階に開設され、消費生活に関する相談を受け付けております。

仙台市の計量行政は、長年経済担当部局がその任を担ってきました。昭和二十五年に仙台市度量衡検査所の建物を北一番丁角に落成。昭和二十七年の計量法施行令に基づき特定市の指定を受け、仙台市計量検査所と改名しました。昭和五十七年には現在の日の出町に移転しております。

平成十四年に仙台市計量検査所条例を廃止し、計量検査所を計量検査器材保管室に名称変更。同時に一般社団法人宮城県計量協会を指定定期検査機関に指定しました。平成二十五年に経済局経済企画課から市民局消費生活センターに移管しましたが、引き続き宮城県計量協会が定期検査業務を実施しております。

■計量器定期検査

適正な計量の実施を確保するため、計量法に基づき、取引又は証明に使用する「はかり」の構造、性能等が一定の基準以上に保持されているか、二年に一度定期検査を実施しています。令和五年度は青葉区・太白区にある事業所等を対象としています。

■立入検査

(一)商品量目立入検査
本市では、中元期・年末期の商品流通の繁忙時期に合わせて全国計量行政会議

の依頼に基づき、「全国一斉商品量目立入検査」を、市内のスーパーマーケット等を対象に実施しています。この検査においては、総じて良好な取扱いがなされております。

(二)特定計量器の立入検査

定期検査対象外計量器で、検定有効期間の定めのある特定計量器について立入検査を実施し、検定有効期限切れ、検定証印の脱落、器差不良等を確認し、不備があった場合は指導を行っております。この検査では、燃料油メーターの検定証印の脱落、電気子メーターの有効期限切れが確認され、対象事業者に指導しております。

■令和四年度トピック

- (一) 五月の消費者月間にあわせ、計量に関するパネル・ポスターの掲示を行いました。
- (二) 十月二十九日に計量記念日事業として、宮城県計量検定所、一般社団法人宮城県計量協会と共催で「みやぎ計量のひろば」を開催しました。
- (三) 計量検査器材保管室の改修工事を実施しており、本年三月に完了予定です。

宮城県計量協会の皆様をはじめ、関係機関の方々にはいつもお世話になっております。今後も皆様と連携を深めながら業務を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和四年度 測定基礎研修会のご案内

協力 (一社)日本計量振興協会
共催 (一社)みやぎ工業会
昨年度に続き、今年度も測定基礎研修会を行います。
ご興味を持たれた方は是非、事務局までご連絡ください。詳細については当会HPを参照ください。

【日時】 令和五年一月三十日(月) 十三時〜

【場所】 アエル「エル・ソーラ仙台」 二十八階

【申込期限】

令和五年一月十七日(火)
(期日が迫っておりますのでお早目に)

今回の研修内容は次のとおりです。

一 測定基礎

- 計量単位
● 測定の信頼性(不確かさとは)
● トレーサビリティ

二 測定器の管理

- 測定器の選択
● 測定器の5S
● 国際規格の要求

三 測定器の基礎知識

- 質量と質量計
● 温度

四 長さ測定器の基礎知識と使い方

- ノギス、マイクロメーター
● ノギス、外側マイクロメーターの測定実習
● その他(熱膨張係数、ブロックゲージ、ゲージ等)
(測定のためならず集、失敗例)

令和五年度 定期検査代検査実施区域

定期検査

計量法第二十条(指定定期検査機関)に基づく、仙台市の定期検査は、次のとおりです。

Table with 2 columns: 対象区 (青葉区, 太白区)

特定計量器の代検査

計量法第二十五条(定期検査に代わる計量士による検査)による検査区域は次のとおりです。

Table with 4 columns: 対象市町村, 実施時期(予定), 対象市町村, 実施時期(予定)

計量法第二百十条(計量証明に代わる計量士による検査)の実施区域は次のとおりです。

Table with 2 columns: 対象市区町村 (栗原市, 登米市, 大和町, 多賀城市, 石巻市, 大衡村, 七ヶ浜町, 大河原町, 塩竈市, 富谷市, 仙台市太白区)

※検査対象の事業所に対しては、当協会により事前に検査日程をご通知いたします。
また、検査を受けていない事業所・店舗等で、取引・証明に使用されている計量器をお持ちの方は、定期検査を受検されますようよろしくお願いたします。
(受検希望や問い合わせについては、当協会へご連絡下さい。)

計量技術研修会「くらしの計量」開催案内

計量に関する知識を深めていただくため、宮城県計量検定所より講師をお招きし、研修会を開催いたします。
会員の皆様他、ご興味のある方は是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

【日時】 令和五年二月十七日(金) 十三時〜十五時

【場所】 ホテル白萩

【主催】 (一社)宮城県計量協会

【申込期限】

令和五年二月三日(金)

主な内容

- ・ 計量立入検査について
・ 商品量目検査について
・ 定期検査、計量に関する基礎的な知識

お知らせ

当協会では、計量器について左記のご依頼や相談も承っております。
ご希望のお客様は、当協会のホームページより申込書等をダウンロードして頂き、必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。後日担当より詳細をお知らせいたします。
(www.keiryo.net)

- 計量器の校正
● 分銅の校正
● 一軸試験機の校正
● 計量管理(量目検査や精度検査等)

編集後記

昨年四月から事務局長を拝命しました松倉と申します。前任の佐藤専務理事から引き継ぎ、早九カ月、毎日四苦八苦しながら業務にあたっております。

さて、昨年はスポーツが大いに盛り上がり、夏の甲子園では仙台育英が東北勢初となる優勝を果たしました。また、サッカーW杯で日本は劇的な勝利で予選を突破し、決勝トーナメントのクロアチア戦では、PK戦までもつれこみ、結果は惜敗とはなりませんが、日本中に感動を与えました。

私も森保ジャパンを見習い、協会職員一丸となれるよう努力して参りますので、今後とも宜しくお願いたします。